

日本共産党
すみだ区議団ニュース
 第518号
 発行 日本共産党墨田区議会議員団
 発行責任者・はらつとむ / 編集責任者・としま剛
 発行所 墨田区吾妻橋1-23-20 ☎直通5608-6326
 墨田区役所16階 日本共産党区議会控室

ワクチン接種の強化、 行政検査、無料検査の拡充 くらしと営業守る予算に

日本共産党 はらつとむ区議が代表質問



日本共産党

検査を拡充 暮らしと営業への 支援強めよ

はらつとむ区議が代表質問

墨田区議会定例会2月議案が、2月4日から3月30日までの日程で開かれています。4日には、はらつとむ区議が代表質問にたち、「新型コロナウイルス感染症対策「新年度予算案」などについて、山本区長と加藤教育長の見解を質しました。

オミクロン株は軽視できない 現局面と国の対策に対する 区長の認識を問う

はら区議 オミクロン株 ある。しかし欧米並みには、デルタ株よりも重傷 感染者が広まれば、重症者が少ないことで、今ま 者・死亡者数も今まで以上に軽視する傾向が 上になることは明らか。

政府は、ワクチン接種の前倒しと臨時の医療施設の設置を表明したが、PCR検査能力についてはいまだに引き上げの目標すら示していない。新型コロナウイルス感染症の現局面と、国の対策に対する人市区を問う。

検査の拡充で 不安を解消せよ

はら区議 都教育委員会2月9日、クラスに陽性者が出て学級閉鎖となった際の通達を出し、クラス全員へのPCR検査ができるとしている。区ではクラス全員の検査について、周知や検査を積極的に行うべき。教育長 今までと同じく、各学校の判断ではなく、区教育委員会が調査を行い、要件に該当する児童・生徒を特定し、PCR検査を実施する。はら区議 無料検査では、区が誘致した民間会社は1日800件の検査能力があるが、実績は周知やマンパワー不足で1日数十件ときている。区がもっとアピールし、複数

数個所で検査できない。区長 現在2か所目の整備を区が支援している。

現金給付は実施しないという姿勢は改め、暮らしと営業を支援せよ

はら区議 「事業者復活支援金」が始まったが、売り上げが30%から50%以上の落ち込みが前提となっており、家賃の支援も抜けている。個人向けの現金給付も住民税非課税に限定され、「困っている人」に行き届かない。国に対して制度の拡充を求めるとともに、除間を受ける区独自の支援策を。

格差と貧困を広げた 新自由主義からの転換を

はら区議 格差と貧困を広げた最大の要因は、労働法制の規制緩和で、不安定な非正規雇用を増加させたことにある。コロナ禍の下、保育、医療、介護などのケア労働が見直されているが、墨田区ではこれらに施設を区が直接運営するのではなく、財政の効率化優先で指定管理者制度・民間化を進めてきた。このよ

うな区政運営が、新自由主義的な考え方に基づくものとの認識されているのか、信じ畏友主義からの転換についてどう考えているのか。

区長 本区はこれまで、特定の主義主張ではなく、区政運営を進めてきており、区民サービスの向上を図るために指定管理者制度を導入し、民間の活力を生かしながら、様々な支援策により、処遇改善を図ってきた。

子ども医療費の助成が18歳までに拡充へ

このほど東京都は、子どもの医療費助成を18歳まで拡充すると発表しました。まだ詳細は決まっていますが、早ければ4月以降に実現します。現在は15歳までは医療費が無料化されていますが、墨田区では新たに5000人ほど対象が広がります。日本共産党は、区議会や都議会で一貫して医療費の無料化18歳以下まで広げるように求めてきました。



▼今年も3月10日に関東大震災と東京大空襲による犠牲者を追悼する、春季慰霊大法要が横網町公園にある東京慰霊堂にて行われます。▼多くの方が参拝する慰霊堂と復興記念館、その屋根や柱に不思議な妖怪が潜んでいるのをご存知でしょうか。本堂の屋根の両端には目がグルグル回っている鳥のような像があります。本堂扉の上には、耳の長い猿と犬とも似つかない生き物が光る照明を啜え、まるでマンガに登場するキャラクターのよう。これら不思議な「幻想の動物」を設計したのは建築家の伊東忠太氏（1867～1954年）。慰霊堂を設計する際に、敵かであると同時に、五十年、百年後も、人々がほっと和める場所を作りたかったのではと語られています。▼鎮魂の守り神でもある妖怪たちに見守られるながら、来年は関東大震災100周年を迎えます。当時の甚大な被害を後世に伝えていくこと、その教訓を活かしていくことも重要です。ところが、新自由主義的な考え方が、新自由主義的な考え方によって、墨田区でも防災対策などに自己責任が押し付けられています。自然災害が相次ぐ昨今、新自由主義からの転換、経済効率優先ではなく、いのちと暮らしを最優先した防災対策が求められています。

2022年度

墨田区予算案

総額1781億余に

墨田区の2022年度予算案が、区議会予算特別委員会(2/25～3/15)で審査されています。

予算総額は一般会計と国民健康保険、後期高齢者医療保険、介護保険の3つの特別会計を合わせると1781億1330万円で、前年度比49億6600万円、2.9%の増となっています。

区民要求を反映した新規・拡充事業もありますが、高すぎる国民健康保険料や後期高齢者医療保険料をさらに値上げするなど、暮らしを守る役割を果たすものになっていません。日本共産党は、「予算組み替え案」を提案する予定です。

学童クラブの増設が実現しました

- 小梅小学校 2022年4月 32名
●八広小学校 2022年4月 32名
●外手小学校 2022年4月 40名
●両国中学校 2022年4月 20名
●吾嬬立花中学校 2022年4月 40名(20名増)
●横川小学校 2022年7月頃 20名程度
●錦糸小学校 2022年7月頃 40名程度
●立花吾嬬の森小学校 2022年4月 40名程度
●柳島小学校 2022年4月 40名程度



ケアに手厚い 墨田区政の実現を

山下ひろみ区議が一般質問



2月22日、山下ひろみ区議が一般質問に立ち、「コロナ禍のもと、医療や介護、保育など、ケア労働の重要性が改めて見直されている」として、命を守るケアに手厚い墨田区政の実現に向け、重要な施策について、提案と質問を行いました。

正規社員を増やし 保健所の体制拡充を

山下区議 保健所と職員を減らしすぎたことが、コロナ下での業務パンクを引き起こす最大の要因になっている。今後も新型コロナウイルスなどの感染症の発生・流行が予測されるなか、感染症担当などの正規職員を抜本的に増やすべき。

区長 感染症の発生・拡大等の非常時には、全庁外部委託は進めていく。

検査業務は区直営で 充実を

の応援体制、臨時職員の採用や人材派遣の活用、業務委託等により対応できる。

山下区議 行財政改革で「検査業務の外部委託」を進める一方で、現場では「検査室」の機能を維持する努力が行われてきたために、自前でPCR検査を実施することができた。この教訓を踏まえて、検査業務の外部委託を見直し、新保健施設の検査体制の充実を図るべき。

区長 今後も検査業務の外部委託は進めていく。行する。基幹園を補佐する。

向島保健センターは 存続を

山下区議 コロナ危機の教訓をふまえ、保健所の体制拡充と公衆衛生の再生・強化の観点から、向島保健センターの廃止は見直すべき。

保育所等整備計画の見直しの中心点は何か

山下区議 2015年に制定された保育所等整備計画は、区立保育所を中学校区の10ブロックに分け、1園ずつ基幹園を設置して認定こども園に移行する。基幹園を補佐する。

区立保育園の 民営化はやめよ

る区直営の保育所を何園か残し、それ以外は民営化していくというもの。わが党は、この基幹園化と認定こども園化、民営化は、様々な矛盾や問題点があることを指摘して、抜本的な見直しを求めたが、今回の改定で見直された点は何か。

墨田区児童相談所の 早期整備を

山下区議 区長は、2024年度に開設する新保健施設に児童相談所を整備し、「すみだの子どもは、すみだで守る」と強調してきたが、児童相談所の設置は引き続き検討することとされ、都区共

山下区議 改定案では、公設保育所の役割を明確

する。基幹園を補佐する。



先日、100歳の男性が柳原病院に入院した。往診患者で夫婦とも認知症だ。妻が先に、デイサービスで体調をくずし発病。一週間後に夫が38度を出し、酸素が88%まで落ちた。この時点で、近くに住む娘は二人一緒にそのまま家においていくので、「入院させないで」と言っています。しかし、夫の具合は三日たっても微熱と、酸素88%だったため、このままでは回復しないため、入院に同意し

すみだ共立診療所 吉沢先生にきく

高齢者のコロナ

でもらった。夫の件は100歳でも具合は悪そうでないで、在宅のままと思っていた事もあったが、在宅では治療もできないので、感染対策上も良くないと思いき、入院を決めた。訪問看護の報告も、昨日は36度台、今日は38度あったと、日によって具合が変化し、血液検査も悪いので、楽観はしていなかった。妻の体調は良く、36度台で経過し、最初は「死

同のサテライトオフィスを設置するとされた。なぜ、児童相談所の整備を棚上げしたのか。一時保護所を含む墨田区児童相談所を早期に整備すべきである。区長 都区共同のサテライトオフィスを設置して、未然防止を含む児童虐待対応の仕組みを構築する。新保健施設等、地域に根差したきめ細かい子育て支援と、都児相の広域的・専門的な支援と連携させながら、迅速かつ一貫した児童相談体制を確立する。児童相談所については、新施設での事業実績を検証しながら、改めて検討する。